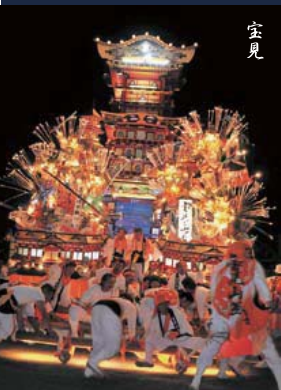




上金田



町部



宝見

守り抜かれた伝統も進化を重ねる晴れ舞台も縦横無尽に駆けめぐった。

待ちわびた日がやってきました。「オーラーヤッサー」の掛け声が、稲穂を揺らす秋風に乗って響き渡り、大人も子どもも心弾ませ、地域に活気がみなぎる日が。

稲荷神社神幸祭と山笠競演会が10月17日・18日に金田地区で行われ、武者人形で飾られた山笠が各地を練り歩きました。昼は伝統ある祭典、夜はエネルギーあふイベントと、地域がにぎわいを見せた2日間を紹介します。

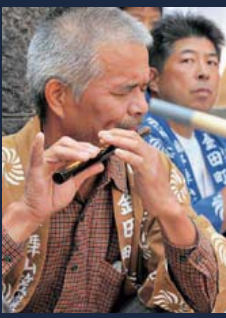
地元で山笠を披露する「村回り」を終えた5基の山笠が稲荷神社前に集結しました。境内で「お発ち式」が始まり厳肅な雰囲気。やがて巫女の舞と獅子舞が行われ、御輿と旅行列が境内から降りてきました。そして御輿が御旅所の菅原神社までの道のりを行く「お下り」が始まり、旅行列と御輿の後に山笠が続きます。華麗な一行と勇壮な山笠が通りを連なる荘厳な様に、沿道の人々は目を奪われていました。

昼間のきらびやかな様とは違って変わり、電飾で飾られた6基の山笠が、かき手たちの意気込みを表すように闇夜に熱く浮かび上がっています。今年で8回目となった山笠競演会が、ふれあいイベントパークを舞台に2夜に渡って豪快に行われました。熱気ほとばしるイベントは、披露する側も見る側もまさに「血がたぎる」競演会です。声をからすかき手たちがあつたけの力を振り絞って巨大な山笠を操ると、回りを囲んだギャラリーの興奮は最高潮に。かき手のかけ声や祭りばやしをかき消すほどの拍手と歓声が鳴り響いていました。

Photo Report 稲荷神社神幸祭 山笠競演会



→1・4年以上続いていると言われる祭典の様子。初日にお下り、2日目に「お上り」が行われます。



昼と夜、カメラが追った名場面集。

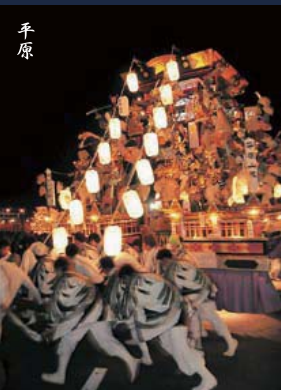


山笠躍動

2009



人見



平原



神崎二山笠愛好会



↑イベント場集結した6基の山笠。勇壮な練り回しを披露した競演会には2日間て延べ1万人が訪れました。↑その日の法被身を包んだ、勇ましいかき手たち。